

三国コカ・コーラボトリングのマネジメント

コーポレート・ガバナンス、コンプライアンス経営を強化し、透明性の高い経営を目指します。

三国コカ・コーラボトリングのCSRの考え方

当社は、中期経営構想のビジョンとして「夢に向かって進化するNo.1ボトラー」を掲げています。清涼飲料を軸とした事業活動を通じて、埼玉・群馬・新潟という地域のみなさまに安全・安心な製品やサービスを継続して提供していくことがCSRの原点と考えております。また企業市民として、ステークホルダー（株主・従業員・取引先・顧客・地域社会など）のみなさまの期待に応え、地域とともに持続可能な社会の実現を目指しています。

当社は地域密着型企业として、地域の顕在的な要求はもとより潜在的な要求にも積極的に耳を傾け、品質、環境、教育・文化、災害支援などを中心とした社会貢献を更に推し進めることが使命であると考えております。

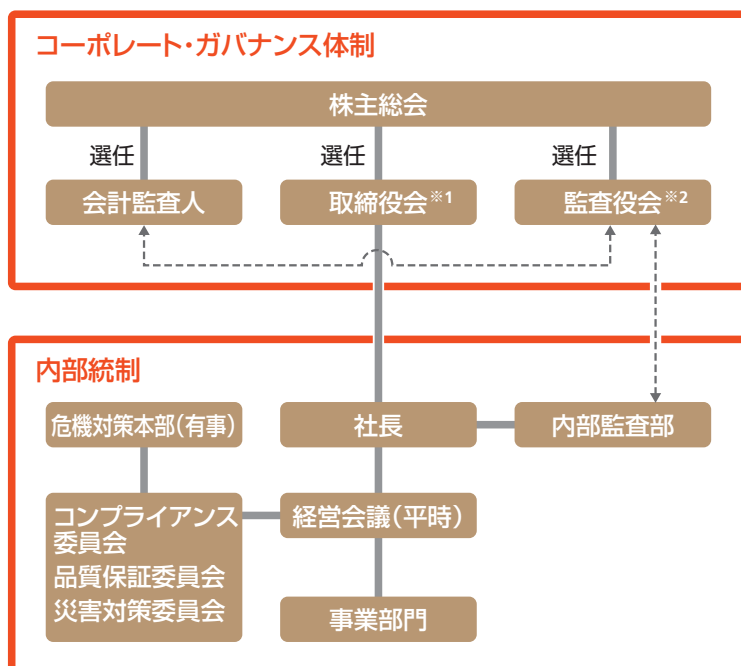
●コカ・コーラシステム全世界共通の事業指針

「Live Positively(リブ・ポジティブリー)ー世界をプラスにまわそうー」は私たちが日々の業務を通じて、人や社会への貢献と、ビジネスの成長を両立させることにより、持続可能な社会の実現を目指すための中長期的な事業指針です。

| | | | | |
|--|------------------------|--------------|---------------------|-----------|
| | 市場 | 環境 | 社会 | 職場 |
| | | | | |
| | さまざまな消費者ニーズに合った飲料価値の提供 | 温暖化防止エネルギー削減 | 持続可能なパッケージ(持続可能な容器) | 水資源保護 |
| | 活動的/健康的な生活習慣 | | 地域社会への貢献 | 魅力ある職場づくり |

コーポレート・ガバナンス体制の強化

●コーポレート・ガバナンス体制と内部統制図



※1 取締役:7名(うち社外1名) 任期:1年

※2 監査役:4名(うち社外3名) 任期:4年

▶ 基本的な考え方

当社は、長期安定的な企業価値の向上を重要な経営課題として、ステークホルダーへの責任を果たして円滑な関係を構築し、経営の透明性を一層高め、経営目標の達成に向けた経営監視機能の強化を図っています。具体的には、適時適切な情報開示、取締役会、監査役(会)の監査機能の充実等さまざまな取り組みを行い、コーポレート・ガバナンスの充実を推進しています。

▶ 業務執行、監査・監督体制(2011年4月1日現在)

当社は監査役制度を採用し、執行役員制度を導入しています。取締役会において選任された執行役員が実務執行を分担する体制とし、業務執行の迅速化と責任の明確化を図っています。

コンプライアンス経営

▶ 基本的な考え方

法令遵守はもとより、社会常識を備え企業倫理を遵守し、あらゆるステークホルダーからの期待に応え信頼を裏切らないことが、当社の考えるコンプライアンスです。

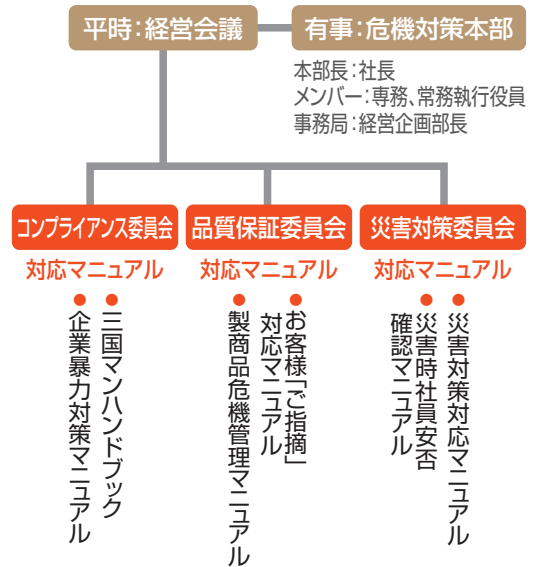
なお、地域社会に支えられている一企業市民として役員および従業員が社会的責任のある行動をすべく、「役職員行動規範」を制定しています。

▶ 危機管理

「危機管理規程」に基づき管理体制を整備し、災害や事故、製品トラブルなどの企業危機を体系的に分類・整理して管理しています。

従業員がコンプライアンスの観点から疑問に思ったことや、上司に相談しにくいことを気軽に相談できる「三国さわやかホットライン」には時間に関する問い合わせ、1件の通報がありました。

● 危機管理体制および対応マニュアル



従業員への啓発活動



▶ コンプライアンス研修

新入社員研修に組み入れたコンプライアンス教育から始まり、グループ役員・管理職を対象とした顧問弁護士による事例研修や法務担当者による契約に関する研修など目的・対象別に2010年度は16回の研修を実施し、397人が受講しております。また、2009年度よりWeb研修システムによるeラーニングコンテンツを自社作成し、全従業員が受講を行いました。

▶ 交通安全啓蒙活動

車両を多く取り扱う企業の責任として、交通安全の徹底にも力を注いでおり、2008年より交通安全宣言のポスターを作製し、各職場の従業員全員が署名したものを全職場で掲示しております。また、所轄警察署主催の交通安全講習会を継続実施、グループ全従業員を対象としたSDカードの取得による違反確認、指導などを行っています。

